

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 3 月 13 日 (2014.3.13)

【公開番号】特開 2012-152469 (P2012-152469A)
 【公開日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-032
 【出願番号】特願 2011-15779 (P2011-15779)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 H

A 6 1 B 3/10 Z

A 6 1 F 9/00 5 5 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 1 月 23 日 (2014.1.23)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

手術時における患者眼を観察するための観察光学系と、
 手術位置に配置された患者眼の特性を測定する眼特性測定ユニットと、
眼特性測定ユニットによって得られた測定結果に基づいて眼内レンズ手術をガイドする
ためのガイド情報を出力するガイド手段と、
 を備える眼科用手術顕微鏡。

【請求項 2】

前記ガイド手段は、患者眼の特性を予め取得し、その後、前記眼特性測定ユニットによ
って取得される測定結果と比較可能に出力することを特徴とする請求項 1 の眼科用手術顕
微鏡。

【請求項 3】

前記眼特性測定ユニットは、角膜形状測定手段を備え、
前記ガイド手段は、前記角膜形状測定手段によって眼内レンズ挿入後に測定された乱視
軸情報に基づいて乱視軸情報を示すグラフィックを前記ガイド情報として生成することを
特徴とする請求項 1 ~ 2 のいずれかの眼科用手術顕微鏡。

【請求項 4】

前記眼特性測定ユニットは、光干渉計を備え、患者眼の水晶体が除去された後の眼軸長
を測定可能であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかの眼科用手術顕微鏡。

【請求項 5】

前記眼特性測定ユニットは、眼圧計を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか
の眼科用手術顕微鏡。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

(1)

手術時における患者眼を観察するための観察光学系と、
手術位置に配置された患者眼の特性を測定する眼特性測定ユニットと、
眼特性測定ユニットによって得られた測定結果に基づいて眼内レンズ手術をガイドする
ためのガイド情報を出力するガイド手段と、
を備える。

(2)

前記ガイド手段は、患者眼の特性を予め取得し、その後、前記眼特性測定ユニットによ
って取得される測定結果と比較可能に出力することを特徴とする (1) の眼科用手術顕微鏡。

(3)

前記眼特性測定ユニットは、角膜形状測定手段を備え、
前記ガイド手段は、前記角膜形状測定手段によって眼内レンズ挿入後に測定された乱視
軸情報に基づいて乱視軸情報を示すグラフィックを前記ガイド情報として生成することを
特徴とする (1) ~ (2) のいずれかの眼科用手術顕微鏡。

(4)

前記眼特性測定ユニットは、光干渉計を備え、患者眼の水晶体が除去された後の眼軸長
を測定可能であることを特徴とする (1) ~ (3) のいずれかの眼科用手術顕微鏡。

(5)

前記眼特性測定ユニットは、眼圧計を備えることを特徴とする (1) ~ (4) のい
ずれかの眼科用手術顕微鏡。